

科目名	精神看護特論 (Topics of Psychiatric & Mental Health Nursing)			科目コード	249
開講学科	看護学科	選択区分	選択	単位数(時間)	1単位(15時間)
科目区分	専門科目	履修時期	4年次前期	関連DP	看②③⑤
担当教員	越智 百枝、坂元 勇太				
授業概要	精神看護学実習でおこなった対象理解をもとに、個別学習やグループワークを通して、対象者のセルフケアの回復、その人らしく生きるための地域包括ケア、対象を含む家族への看護計画の立案について教授する。上記の学習を通して総合実習に向けて自己の課題を明確にすることを支援する。				
授業目標	1 精神看護学領域で援助に有用な理論や技術、必要な資源について理解できる。 2 対象者のセルフケアの回復、その人らしく生きるための地域包括ケア、対象を含む家族への看護計画が立案できる。 3 総合実習に向けて自己の課題を明確にする。				

授業計画

回	項目	内容
1	オリエンテーション 援助に有用な理論や技術、必要な資源などの決定	受け持った対象の看護上の課題と選定した援助に有用な理論や技術、必要な資源などについて発表する。受け持った対象の持つ課題が類似している学生同士でグループを編成する。
2～3	決定した理論や技術、資源の学習	決定した理論や技術、資源について、文献や視聴覚教材等を用いて自己学習する。他の学生に、受け持った対象の課題及び選定した理論や技術、必要な資源、選定理由、対象への適用方法について、発表準備を行う。
4～5	学びの共有(各グループ)	援助に有用な理論や技術、必要な資源について発表し、グループで学びを共有する。 他の学生の発表を踏まえ、受け持ち患者への適用について検討し、さらに学びを深めたい内容を抽出する。
6	看護計画立案	対象理解をもとに、学習した援助に有用な理論や技術、資源を活かした看護計画を立案する。他者に自分の立案した計画を説明できるよう、発表準備を行う。
7～8	学びの共有(全体)	立案した看護計画を発表し、質疑応答を通して修正する。 総合実習に向けて自己の課題を明確にする。
成績評価方法	授業への参加状況、学びの発表内容、グループワークへの参加状況、作成した看護計画で評価する。	
教科書	適宜紹介する。	
参考図書等	適宜紹介する。	
授業時間外の学習について	受講前課題として精神看護学実習で担当した対象の取り組むべき課題(看護の焦点)の援助に有用な理論、技術、必要な資源などを選定したうえで履修していただきます。理論や技術の学習や看護計画の立案などに授業時間外に自己学習する時間が2-4時間必要です。	
関連科目	228 メンタルヘルス論、229 精神看護対象論、230 精神看護方法論、231 精神看護学実習、245 総合実習	
備考	総合実習や看護研究で精神看護学領域を選択する学生は受講することが望ましい。	